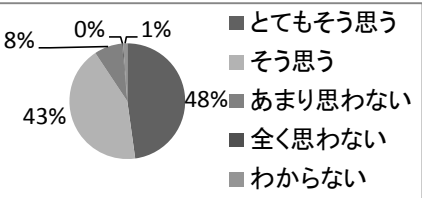


令和2年度 学校教育に関するアンケート結果

日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、御報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

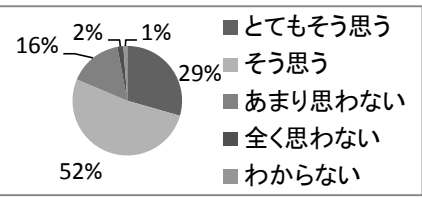
<児童の様子>

【質問1】 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



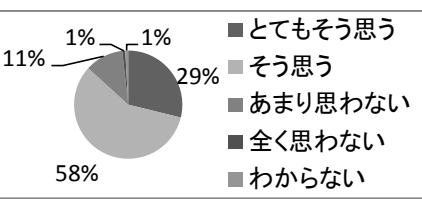
1学期の始めには休み時間は担任も専科教員も外に出て子供と一緒に遊んだり、各学期に1回、児童全員と面談をしたりする取組を全学級共通で行ってきました。これらの取組を通して、一人一人の児童理解に努め、担任と児童の信頼関係を築くようにしました。来年度も、子供たち一人一人が安心して笑顔で楽しく学校に通うことができるように、これらの取組を継続します。

【質問2】 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



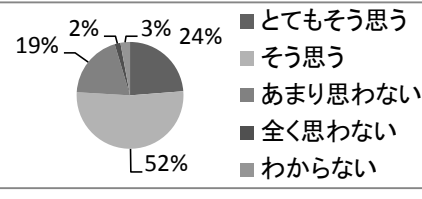
職員の研修として今年度は国語科を通して「文章の内容を理解して読み取る児童の育成」を目指し、授業力向上を図りました。子供たちが意欲的に学習に取り組めるよう、教材を工夫したり話し合い活動を意図的に学習に取り入れるなど授業改善を行っています。来年度は学級経営的な視点も校内研修に加え、さらに意欲的に学習に取り組める工夫を行っていきます。

【質問3】 お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



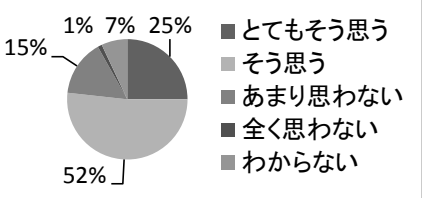
基礎的な学習内容が身につくよう、年に2回、東京ベーシックドリルを活用して習熟状況を診断し、理解が十分でないところは個別のプリントを用いて理解が進むよう全校で取り組んでいます。一人一人の学習状況やつまづきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身につけられるよう日々の授業を工夫しています。来年度は、朝学習の時間を活用し、国語や算数、社会科のミニテストに全校で取り組み、基礎的な学習を楽しみながら身につけられる取組を行います。

【質問4】 お子さんは先生の話をしっかり聞いていると思いますか。



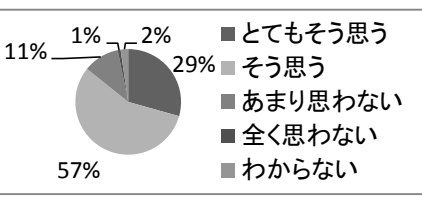
6月から学校がスタートしたことで、最初の数か月は学校生活に慣れることに時間がかかった学級もありましたが、現在はどの学級も大きな乱れはなく、教師の話聞き、落ち着いて学習している様子が見られます。しかし、学級によっては十分でないという評価もいただきました。来年度はさらに落ち着いて学習に取り組むことができるよう、「本町小学習スタンダード」をもとに、どの学級も授業規律を整えて参ります。

【質問5】 お子さんは授業が分かりやすいと感じていますか。



新学習指導要領に基づいて、児童の知識・技能が確実に身につく、主体的に学べるよう、学習指導を工夫して参りました。来年度は西東京市GIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレットが配布されます。1月に「eライブラリー斉体験日」を行いました。家庭学習でも学校の授業でもタブレットを活用していく時代となります。学校での授業がタブレット導入によりさらにわかりやすくなるよう、来年度は教員の研修も計画的に行ってまいります。

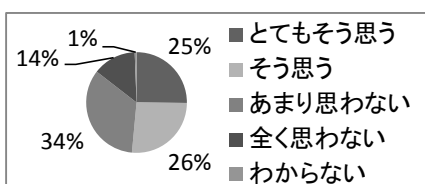
【質問6】 お子さんは、自分のことは自分で言い、友達と協力していると思いますか。



学校では、3つの『あ』（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ）を全校共通の合言葉とし、どの児童も実践できるよう全教員で声をかけています。また、特別の教科道徳でも「親切・思いやり」「生命の尊さ」など豊かな心の育成に向けて計画的に指導を進めています。

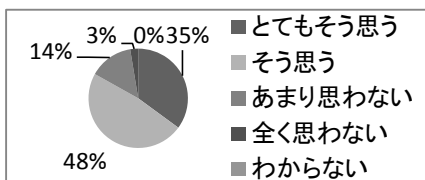
<御家庭へのアンケート>

【質問7】 お子さんは進んで本を読んでいますか。



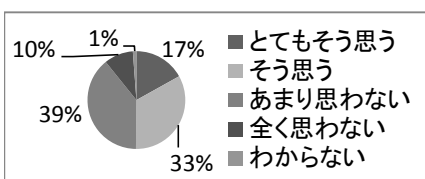
子供たちの読書量が少ないことは、本校の課題です。子供たちが家で本を読まずに、テレビやゲームに時間を費やしていることが【質問9】の結果から伺えます。今年度は月に一回の「家読」の宿題を設定し、家で読書をする時間を作るようにしたり、読書量の多い児童を表彰したり、図書バックを全員机の横にかけ、いつでも読書のできる環境を整えたりすることで、読書を促してきました。来年度は「家読」の宿題を毎月第1・3金曜日の2回を全校統一で設定し、さらなる改善を図ります。

【質問8】 お子さんは、家庭学習(宿題・自主学习等)に毎日取り組む習慣ができていますか。



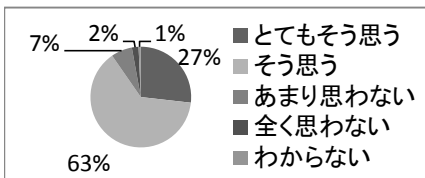
学力向上には、学校での授業に加えて家庭学習で定着を図ったり発展させたりすることが欠かせません。本校では、全学級で宿題を必ず出すこと(10分×学年以上)と、朝必ず提出する習慣を全学年共通して指導することとしています。保護者の方が、少しの時間でもお子さんの家庭学習を見てくださることが、子供の励みとなり力を伸ばします。学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていききたいと思います。

【質問9】 お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



本町小学校の子供たちはテレビやゲーム、ネット等への依存傾向があり、本校の課題の1つとなっています。セーフティ教室では、SNS被害について専門家に出席授業をしていただき、全校で学ぶ場を設けました。さらに、SNS本町小ルールに基づいてSNS被害防止の授業も実施しています。しかし、テレビやゲーム、携帯電話との根本的な関わり方は、御家庭の御協力が不可欠です。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で共通の課題意識をもち取り組んでいきたい課題です。

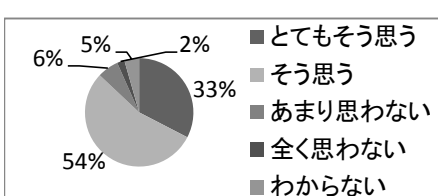
【質問10】 御家庭では、お子さんのよいところを話題にしていますか。



子供たちは日々、いろいろなことに努力し、挑戦して学校生活を送っています。小さなことでもそのがんばりを保護者に認められることで子供の自己肯定感が高まります。予測困難な時代を生きていく子供たちが、前向きに自信をもって生きていくことためには、自己肯定感を高くもっていることがとても大切だと考えます。学校でも家庭でも、小学校時代にたくさん温かい言葉をかけて自己肯定感を高めていきたいと考えます。これからも御協力をお願いいたします。

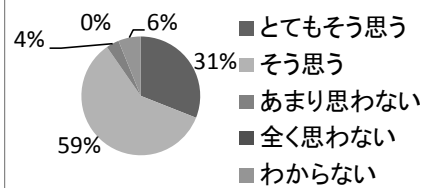
<学習指導・生活指導>

【質問11】 学校は、授業の工夫や補習など、学力向上に努めていると思われますか。



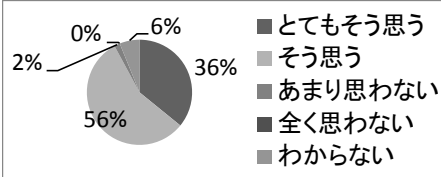
授業では、書画カメラの活用、ホワイトボードや付箋などの思考ツールの活用をしたり、ゲストティーチャーを呼び、専門性の高い学習の場を設けたりして、主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力の育成に努めてまいりました。各学年のステップアップタイムでは現学年の学習の習得が十分でない児童に基礎・基本の定着を図りました。本町っ子タイムでは、3・4年生を対象に、前学年の学習から基礎・基本の定着を目指して、全学級担任とマンツーマンで年間10回学習する時間を設けました。来年度も引き続き、1人1人にきめ細やかに指導できるよう、授業改善に努めます。

【質問12】 学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。



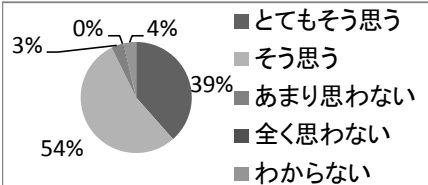
今年度はあいさつについて特に指導を進めて参りました。挨拶は人と人が関わる最初の言葉でありとても大事なものだと考えています。立ち止まって相手の目を見てしっかりと礼をして挨拶できるよう校長自ら全クラスに出向いて話をしました。代表委員会によるあいさつ運動や、5年生のあいさつ推進運動を朝行ったり、学校全体で挨拶標語を作ったり、よい挨拶にはカードを配ったりするなど様々な取組を用いて、進んで挨拶できる児童を育てています。

【質問13】 学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



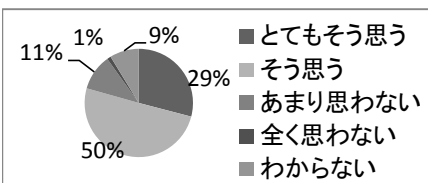
毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意・喚起を促す指導をしています。また、毎学期1回、下校時に教員と一緒に通学路を歩き、危険がないかを点検しています。今年度、校内での大きな怪我はなく学校生活を過ごすことができました。しかし、学区域内には大きな道路に面している通学路もあります。全校児童への交通事故防止指導を続けて参ります。

【質問14】 学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていますか。



毎月計画的に避難訓練を行っています。避難訓練ではいっどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝の時間などにも行っています。二次災害に備えて保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。5・6年生は、消防署の協力を得て、消火器体験を行いました。

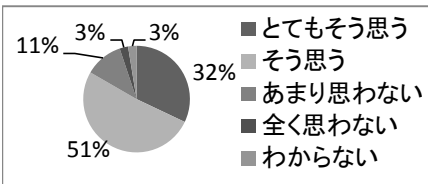
【質問15】 学校は、校舎内外の清掃や施設整理など、学習環境の整備がされていますか。



昭和54年開校ということもあり、校舎、教室の老朽化が進んでいます。1階トイレからの臭いが続いていましたが、トイレの使用学年の振り分けを見直すことで昨年度からなくすることができました。今年度は「おやじの会」の皆様へ、校内廊下のセンターラインを新たに引いてもらう予定です。これからも、市への改修依頼を継続すると同時に、保護者の皆様のお力を借りてできることを進めたり、掲示物や物品等の整理整頓や掃除を教職員で心がけていくことで、古くても整っている環境づくりを目指して参ります。

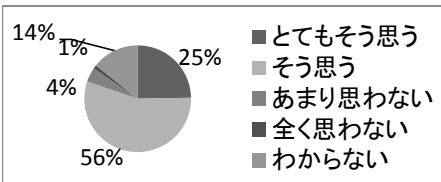
<教育方針>

【質問16】 学校からの情報伝達(学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等)は、分かりやすいですか。



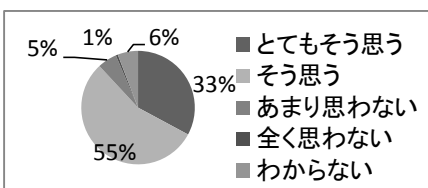
本校の学校経営方針については、学校便り、ホームページ、6月の保護者会等でもお伝えして参りました。8割を超える保護者の皆様に肯定的な回答をいただきました。今年度はコロナ禍の中で少しでも学校教育を理解していただこうと考え、ほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指しどのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非御覧いただき、本町小の教育への御理解と御協同をお願いいたします。

【質問17】 学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われますか。



いじめアンケートを毎学期1回取ったり、スクールカウンセラーによる全児童面接を行ったり、学期の始めには担任と児童との面談を行ったりすることで、いじめの早期発見に努めています。来年度も引き続き1人1人の声を受け止める取組を行い、いじめを防ぎ、早期に発見・対応に努めます。

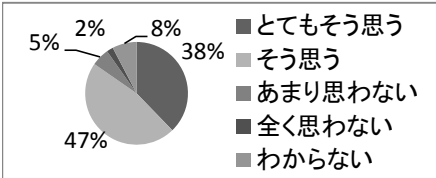
【質問18】 学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われますか。



今年度は、感染症拡大防止のため、市内のどの学校も多くの交流の機会が中止となりました。しかし、「6月保護者会」「7月個人面談」「9月分散型学校公開」「10月本町小スポーツの日」「11月展覧会」「12月持久走大会」など、可能な範囲で最大限の公開の機会を設けられたのではないかと考えております。来年度も、開かれた学校の理念をもちながら、児童の安全も確保できるやり方を模索して参ります。来年度は秋の行事は学芸会の年ですが、コロナ禍でも練習や本番を行えるように、児童の日々の学習の成果を発表する「学習発表会」に変更して、保護者の皆様へ御参観いただく予定です。

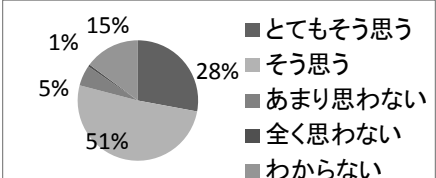
<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問19】 学校はお子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いますか。



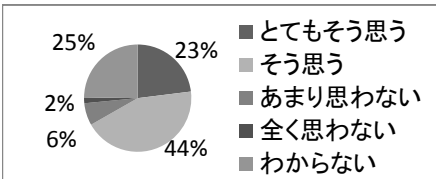
お子さんの健やかな成長について、学校と保護者の両者が協力し合うことで大きな教育効果が得られると考えます。今後も悩みや相談にしっかりと耳を傾け、積極的に応じる学校を目指しているということを保護者会や学校便りを通して広報し、全教員で実践して参ります。

【質問20】 学校は保護者や地域の皆様の声にこたえようとしていますか。



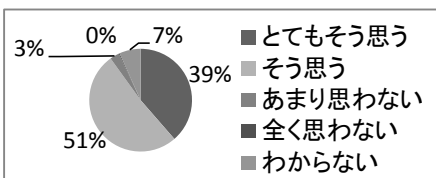
今年度は、コロナ禍ということで様々な活動に制限がかかり中止となることも多くありました。来年度も状況は見通せませんが、保護者・地域・学校が連携しながら学校を創っていくことを大事にしたいと考えております。この学校評価の結果も来年度の計画に生かして参ります。

【質問21】 学校は閉庁日の設定や留守番電話の活用により、働き方改革を進めていると思いますか。



夏季休業中に閉庁日を1週間設けて休暇を取得しやすくしたり、18時半以降は留守番電話にして残った業務に集中できるようにしたりしています。適切な休暇取得や、過度な残業とならないようにすることは、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたり配慮をしたりすることに繋がるため、働き方改革は大変重要です。来年度は市内小中学校のICT化が進む予定です。学校行事の精選も視野に入れ、働き方改革を進めて参ります。

【質問22】 学校の電話や訪問時における対応は適切ですか。



保護者の方や本校に来校された方みなさんが安心できたり本町小を信頼したりすることにつながるよう、電話や訪問時における対応については「先 挨拶」「先 笑顔」をモットーに、全教職員で取り組んでいこう、来年度はより一層心掛けて参ります。

2学期にご依頼しました「学校教育に関するアンケート」の回収率は100%でした。御協力に深く感謝いたします。アンケートの自由記述は全教職員で共有し、成果や課題の原因を分析し、今後の本校の教育活動の充実と向上に生かしていきます。

今回いただいた御意見につきまして、下記に学校の基本的な考え方をまとめましたので、御覧ください。

■今年度は、5月末まで新型コロナウイルスの感染防止に伴い休校していたこと、行事や授業参観が公開中止となったことなどから、学校の様子が「分からない」という回答が比較的多かったです。反面、「ホームページを欠かさず拝見しており、日々の事がよく分かりとても良いです。」というお声もいただきました。今後もホームページ等を活用して、少しでも学校の様子をお伝えできるように発信してまいります。

■「学校生活に対する疑問点や相談など、気軽にできる窓口があるとよいです。」とのご意見がありました。学校は、学級担任だけでなく、学年主任、生活指導主任、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラーなど、学校組織をあげ、一緒にお子さんの成長を考えてまいりますので、どうぞお気軽にお声掛けください。

■「欠席・遅刻・早退連絡をメールでできるようにしてほしいです。」「紙情報が多いので電子化の方がよい。アンケートもweb回答で。」「一人一台タブレットの配布を」等、ICTにかかわる御意見をたくさんいただきました。一人一台タブレットについては、西東京市GIGAスクール構想を元に4月から配備となります。電子化につきましては、令和3年度から西東京市校務支援システムが更新されますので、できるところから活用していきたいと考えています。

■「欠席の際の連絡帳の受け渡しについて不安があります。」への対応として、3学期からお友だちに預けるのをやめ、担任が御家庭に電話連絡することにしました。御理解のほどよろしくお願いします。

■「校舎の老朽化が進んでおり、時代に合った環境整備が待たれます。」につきましては、引き続き教育委員会と連携して修繕や改修に取り組むと同時に、古くても快適な環境を目指し整備してまいります。

■アンケート調査結果から、本校は全体として、比較的読書量が少なく、テレビやゲームに費やす時間が多い傾向が見られます。また、やりすぎないように調整できている子とそうでない子の二極化が見られます。学校と家庭が連携して、小学生時代を大切に過ごさせたいと思います。

■感染症対策や補習教室等について、たくさんの感謝の言葉もいただきました。また「校内の消毒など、保護者がお手伝いできることがあれば参加したいです。」とのお声もいただきました。今後も保護者の皆様の協力をいただきながらよりよい学校を目指してまいります。近年の教育課題に対しては、学校・家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもち同じ方向性で健全育成に取り組む必要性を感じます。これからもご協同・ご協働のほど、よろしくお願いいたします。